

兵庫県のり漁場環境情報 (東播海域 15 号)

平成29年2月25日発行
兵庫のり研究所

ユーカンピアはこの海域西部の沿岸域においては依然として多く確認されますが、全般にはその発生量が減少傾向にあります。窒素は、地先では陸水等の影響も見られ概ね2~5 μg at/L台、沖筋で概ね1 μg at/L前後でした。大阪湾では一部キートセロスが発生している海域も見られますがユーカンピアが減少していることもあり、明石海峡周辺海域において窒素は前回調査と比較し高い値を示しました。

(水温) 漁場内平均9.2℃。(塩分) 平均31.11psu。下げ潮時ということもあり前回 (31.38psu) より0.27psu低い。

(栄養塩、珪藻) 海域西部地先寄りではユーカンピアが依然として多く確認されるが、色素が薄くなっており肉眼視できる群体も減少している。今回調査は下げ潮時であり西寄りの海水の影響が広範囲に及んでいたが、沖筋や海域東部でのユーカンピアの発生量は前回 (2/15) 調査と比較し少なく、この海域全般に減少傾向にあると所感される。大阪湾では、キートセロスの大量発生が確認される海域 (神戸沖・神戸市地先東部) もあり全般に栄養塩濃度は低い、それ以外の海域では珪藻 (ユーカンピア・キートセロス他) は少ない状況。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	9.0	9.2	8.8	9.9
窒素	2.1	2.1	2.9	3.5
リン	0.27	0.26	0.29	0.33

(2/15)

(2/25)

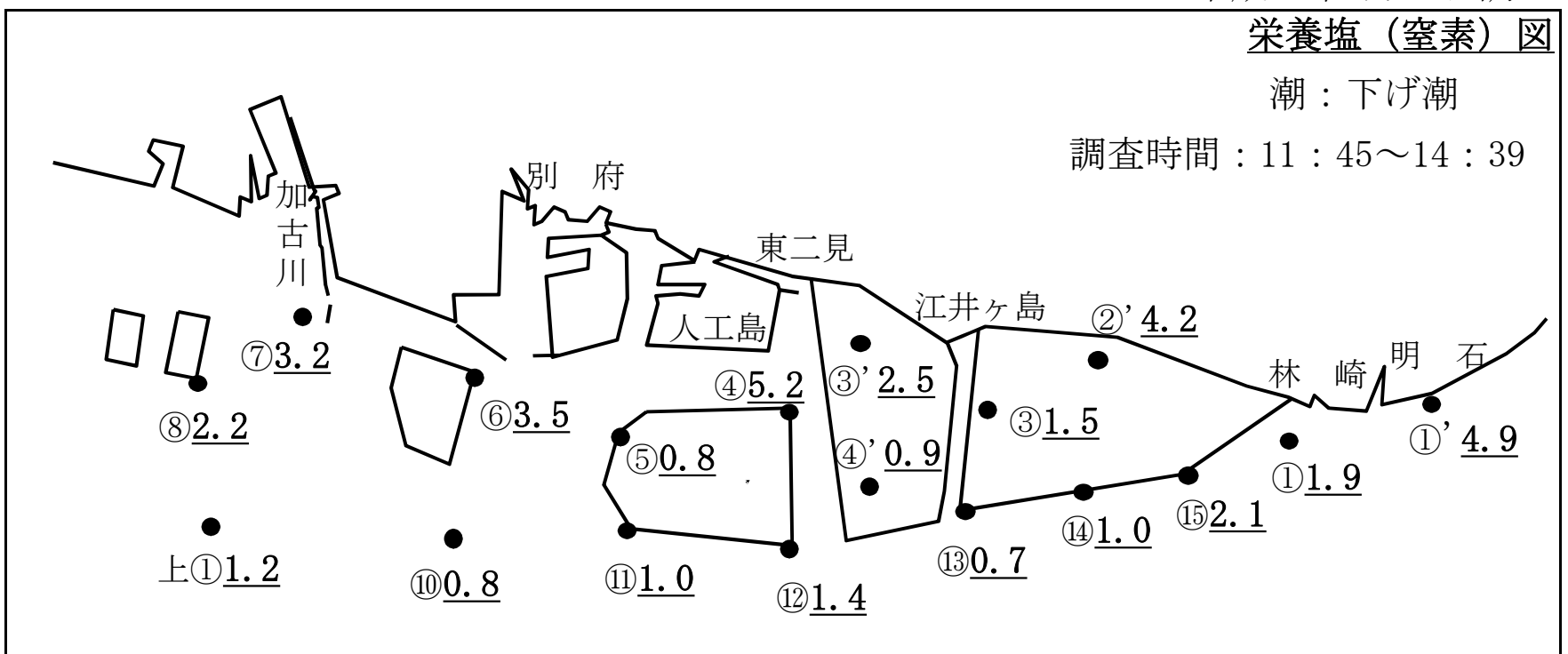
西播地先					
伊保地	水温	9.1℃	伊保沖	水温	9.0℃
	窒素	0.6		窒素	0.5
	リン	0.18		リン	0.19
白浜地	水温	9.2℃	白浜沖	水温	9.4℃
	窒素	0.7		窒素	0.5
	リン	0.21		リン	0.20

平成29年2月25日調査

栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：11:45~14:39



水温図

